

シラバス

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	人体構造・機能論		
必修選択	選択	(学則表記)	人体構造・機能論		
開講			単位数	時間数	
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅰ		出版社	一般社団法人日本病院会	
科目の基礎情報②					
授業のねらい	診療情報管理士に求められる人体構造および機能に関する基本的な医学的知識を理解する。 認定試験の基礎分野で頻出される重要知識を習得する。				
到達目標	・ 人体の構造や機能を説明することができる。 ・ さまざまな病気を、人体の構造や機能の知識をもとに理解することができる。 ・ 診療情報管理士認定試験の「人体構造・機能論」領域の問題を正確に解くことができる。				
評価基準	確認テスト40％、小テスト30％、授業姿勢30％ ☒				
認定条件	・ 出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・ 成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミA①にて3コマ実施。				
担当教員	安部 哲哉		実務経験	○	
実務内容	福岡県北九州市内の病院で医師として勤務。病院長として主に内科、産婦人科を担当している。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	オリエンテーション		授業の進め方、本授業で学習する具体的な内容の説明、到達目標について		
2	1. 細胞		細胞膜、核、細胞小器官について		
3	2. 組織①		組織の発生と胚葉、神経組織、筋組織、上皮組織		
4	2. 組織②		腺組織		
5	2. 組織③		膜組織、結合組織、支持組織、血液、体液		
6	3. 器官①		脳・脊髄		
7	3. 器官②		顔と頸部、咀嚼		
8	確認テスト①		第7回までの内容について		

9	4. 呼吸器の構造と機能 5. 循環器の構造と機能①	呼吸、呼吸運動 心臓の形態と構造
10	5. 循環器の構造と機能② 6. 消化器の構造と機能①	冠循環、血液の循環、心周期、心拍動と神経支配 食道、胃・十二指腸
11	6. 消化器の構造と機能②	小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓、腹膜
12	7. 泌尿器系の構造と機能	腎臓の構造と機能、膀胱、生殖器系の構造
13	8. 上肢・下肢の骨と筋肉	上肢と下肢の骨および筋肉の構造、はたらき
14	確認テスト②	第13回までの内容について
15	まとめ	テストの振り返りと総まとめ
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医学・医療用語		
必修選択	選択	(学則表記)	医学・医療用語		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅱ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	①医療用語の成り立ち・接頭語・接尾語を理解する ②各医療用語を習得する				
到達目標	①医療現場で必要とされる医学・医療用語（英語）を覚える。 ②医学・医療用語と解剖生理学の知識を関連付ける。 ③接頭語や接尾語等、用語の構成要素を覚え、認定試験に出題される問題に対応できる力を身に付ける。				
評価基準	小テスト30%、確認テスト40%、授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅰ・診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅱ・ 診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅲ・診療情報管理士受験対策ゼミB-Ⅳ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅰにて2コマ実施。				
担当教員	安部 哲哉			実務経験	○
実務内容	福岡県北九州市内の病院で医師として勤務。病院長として主に内科、産婦人科を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	医学用語概論	造語の基本、主な接頭語、主な接尾語、用語についての基本的な考え方
2	用語集	1. 循環器
3	用語集	2. 呼吸器
4	用語集	3. 消化器
5	用語集	4. 泌尿器生殖器
6	用語集	5. 代謝、内分泌①

7	用語集	5. 代謝、内分泌②
8	用語集	6. 神経
9	用語集	7. 感覚器
10	用語集	8. 骨格系
11	用語集	9. 皮膚・感染・寄生虫
12	用語集	10. 精神医学
13	用語集	11. 乳腺 12. 妊娠・分娩・周産期
14	確認テスト	第1回～第13回で学習した内容に関する確認テストの実施
15	総まとめ	確認テストの内容の振り返り、総まとめ等
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医療統計Ⅱ（病院統計・疾病統計）		
必修選択	選択	（学則表記）	医療統計Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	18
使用教材	診療情報管理Ⅲ		出版社	一般社団法人日本病院会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①病院統計および疾病統計の知識を習得する。 ②情報化の手段として基本的なグラフ表現と実際に求められる病院統計の手法を学ぶ他、 単なるテクニカルな面に終わることなく、データを扱う上での研究方法や倫理についての知識を習得する。		
到達目標	①診療情報管理士病院実習・就職に必要な診療情報管理士の知識を習得する。 ②認定試験に必要な知識を習得する。		
評価基準	小テスト30%、確認テスト40%、授業姿勢30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	診療情報管理士		
関連科目			
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。 診療情報管理士受験対策ゼミ B ①にて3コマ実施。		
担当教員	来島 裕太	実務経験	○
実務内容	都志見病院、長門総合病院で薬剤事務・医療事務・診療情報管理業務・がん登録業務に携わった。現在は、山口県立総合医療センターにて、診療情報管理を全般的に行っている。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	7-1 データのグラフ表現 7-1-1 データの視覚化	・グラフ表現の必要性、意義を理解する ・データを視覚化することの必要性を理解する
2	7-1-2 各種のグラフとその用途	・棒グラフの特徴、作成方法について理解する ・ベアー棒グラフ、 ずらし棒グラフについても理解する
3	7-1-2 各種のグラフとその用途	・円グラフまたはバイ図表の特徴を理解する ・帯グラフ、百分率棒グラフの特徴を理解する
4	総まとめ	教科書P387～P394までの総まとめを行う
5	7-1-2 各種のグラフとその用途	・折れ線グラフの特徴を理解させる ・折れ線グラフの平滑化について理解させる
6	7-1-2 各種のグラフとその用途	・クモの巣グラフの特徴を理解させる ・ヒストグラムの特徴を理解させる ・散布図の特徴を理解させる
7	7-1-2 各種のグラフとその用途	・箱ひげ図の特徴を理解させる

8	総まとめ	教科書P395～P401までの総まとめを行う
9	7-2 病院の統計資料 7-2-1 病院統計の作成とその意義 7-2-2 主な統計調査と評価指標 430-435	・病院の統計資料の種類を理解する ・なぜ病院統計が必要なのか、その意義を理解する ・主な統計調査と評価指標を理解する
10	7-2-3 主な医療評価指標	・平均在院患者数、平均外来患者数、外来/入院比率について、意味や算出方法を理解する ・平均在院日数について、2種類の違いとその算出方法を理解する
11	7-2-3 主な医療評価指標	・平均病床利用率、病床回転率、死亡率（4種類）、剖検率について、意味や算出方法を理解する
12	7-2-3 主な医療評価指標 7-2-4 経営管理指標	・対診率、再入院率、紹介率、悪性腫瘍の5年生存率について意味や算出方法を理解する
13	総まとめ	教科書P402-414までの総まとめを行う
14	7-3 臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針 7-3-1 コホート研究と症例対照研究 427-429	・医学系の研究手法やその概要について理解する ・コホート研究の2種類の手法について理解する
15	5-10 人を対象とする医学系研究に関する倫理指針	・医学系研究に関する指針について理解する
16	総まとめ①	これまで学習した総まとめ①を実施
17	総まとめ②	これまで学習した総まとめ②を実施
18	総まとめ③	これまで学習した総まとめ③を実施

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅰ（基礎分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	診療情報管理士認定試験（基礎領域）に合格する。 基礎領域のさまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる。 誤っている箇所に関し、正確な知識をもとに正しく修正し、説明することができる。				
評価基準	理解度テスト50%、小テスト30%、授業態度等20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA②・医療概論・人体構造・機能論・臨床医学総論・ 臨床医学各論Ⅰ・臨床医学各論Ⅱ・臨床医学各論Ⅲ・臨床医学各論Ⅳ・臨床医学各論Ⅴ・ 臨床医学各論Ⅵ・臨床医学各論Ⅶ・臨床医学各論Ⅷ・診療情報管理士対策				
備考	3年前期に認定科目（1・2・12章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	武藤 久美			実務経験	○
実務内容	総合病院に27年間、看護師として勤務経験あり。なお、現在も看護師をしている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、到達目標、成績評価について 健康と病気、先天奇形・変形及び染色体異常、損傷・中毒・その他の外因の影響
2	3章 臨床医学総論 （外傷学、先天異常等含む）	
3	4章 臨床医学各論Ⅰ	感染症及び寄生虫症 （細菌、ウイルス、その他の微生物や原虫等を原因とする伝染性疾患について）
4	（感染症および寄生虫症）	
5	5章 臨床医学各論Ⅱ	新生物 悪性新生物および良性新生物
6	（新生物）	

7	6章 臨床医学各論Ⅲ (血液・代謝・内分泌等)	血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害 内分泌、栄養及び代謝疾患
8		
9	7章 臨床医学各論Ⅳ (精神・脳神経・感覚器等)	精神および行動の障害、神経系の疾患 眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患
10		
11	8章 臨床医学各論Ⅴ (循環器・呼吸器系)	循環器系の疾患 呼吸器系の疾患
12		
13	第1回～第12回までのまとめ	これまでの振り返り 3～8章の理解度テスト
14		
15	9章 臨床医学各論Ⅵ (消化器・泌尿器系)	消化器系の疾患 腎尿路生殖器系の疾患
16		
17	10章 臨床医学各論Ⅶ (周産期系)	妊娠、分娩および産褥 周産期に発生した病態
18		
19	11章 臨床医学各論Ⅷ (皮膚・筋骨格系統)	皮膚および皮下組織の疾患 筋骨格系
20		
21	1章 医療概論	医療概論 (医学と医療、医の倫理、診療情報提供、社会保障制度、関連法規など)
22		
23	2章 人体構造・機能論	人体の構造 (細胞、組織、器官および各系の構造と機能について)
24		
25	医学用語	医学用語(接頭語と接尾語、用語の基本的な考え方、各用語集について) 医療用語
26		
27	第15回～第26回までのまとめ	これまでの振り返り 9～11章、1～2章および医学用語の理解度テスト
28		
29	前期の総まとめ	基礎領域(医学用語含む)の総復習
30		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅱ（基礎分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミA-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	45
使用教材	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	診療情報管理士認定試験（基礎領域）に合格する。 基礎領域のさまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる。 誤っている箇所に関し、正確な知識をもとに正しく修正し、説明することができる。				
評価基準	模擬試験50%、演習テスト30%、授業態度等20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA②・医療概論・人体構造・機能論・臨床医学総論・ 臨床医学各論Ⅰ・臨床医学各論Ⅱ・臨床医学各論Ⅲ・臨床医学各論Ⅳ・臨床医学各論Ⅴ・ 臨床医学各論Ⅵ・臨床医学各論Ⅶ・臨床医学各論Ⅷ・診療情報管理士対策				
備考	3年前期に認定科目（1・2・12章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安部 哲哉			実務経験	○
実務内容	福岡県北九州市内の病院で医師として勤務。病院長として主に内科、産婦人科を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	演習 （1-2章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
2		
3		
4	演習 （3-4章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
5		
6		
7	演習 （5-6章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
8		
9		

10	演習 (7-8章)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
11		
12		
13	演習 (9-10章)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
14		
15		
16	演習 (11章および医学用語)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
17		
18		
19	演習 (全範囲)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
20		
21		
22		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
23		
24		
25		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
26		
27		
28		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
29		
30		
31		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
32		
33		
34		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
35		
36		

37	直前演習	認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
38		
39		
40		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
41		
42		
43		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
44		
45		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミA-III（基礎分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミA-III		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	診療情報管理士認定試験（基礎領域）に合格する。 基礎領域のさまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる。 誤っている箇所に関し、正確な知識をもとに正しく修正し、説明することができる。				
評価基準	理解度テスト50%、小テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA①・医療概論・人体構造・機能論・臨床医学総論・ 臨床医学各論Ⅰ・臨床医学各論Ⅱ・臨床医学各論Ⅲ・臨床医学各論Ⅳ・臨床医学各論Ⅴ・ 臨床医学各論Ⅵ・臨床医学各論Ⅶ・臨床医学各論Ⅷ・診療情報管理士対策				
備考	3年前期に認定科目（1・2・12章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	武藤 久美			実務経験	○
実務内容	総合病院に27年間、看護師として勤務経験あり。なお、現在も看護師をしている。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 3章 臨床医学総論 （外傷学、先天異常等含む）	授業の進め方、到達目標、成績評価について 健康と病気、先天奇形・変形及び染色体異常、損傷・中毒・その他の外因の影響
2		
3		
4		
5	4章 臨床医学各論Ⅰ （感染症および寄生虫症）	感染症及び寄生虫症 （細菌、ウイルス、その他の微生物や原虫等を原因とする伝染性疾患について）
6		
7		
8		

9	5章 臨床医学各論II (新生物)	新生物 悪性新生物および良性新生物
10		
11		
12		
13	6章 臨床医学各論III (血液・代謝・内分泌等)	血液および造血器の疾患並びに免疫機構の障害 内分泌、栄養及び代謝疾患
14		
15		
16		
17	7章 臨床医学各論IV (精神・脳神経・感覚器等)	精神および行動の障害、神経系の疾患 眼及び付属器の疾患、耳及び乳様突起の疾患
18		
19		
20		
21	8章 臨床医学各論V (循環器・呼吸器系)	循環器系の疾患 呼吸器系の疾患
22		
23		
24		
25	第1回～第18回までのまとめ	これまでの振り返り 3～8章の理解度テスト
26		
27		
28		
29	9章 臨床医学各論VI (消化器・泌尿器系)	消化器系の疾患 腎尿路生殖器系の疾患
30		
31		
32		
33	10章 臨床医学各論VII (周産期系)	妊娠、分娩および産褥 周産期に発生した病態
34		
35		
36		
37	11章 臨床医学各論VIII (皮膚・筋骨格系統)	皮膚および皮下組織の疾患 筋骨格系
38		
39		
40		

41	1章 医療概論	医療概論 (医学と医療、医の倫理、診療情報提供、社会保障制度、関連法規など)
42		
43		
44		
45	2章 人体構造・機能論	人体の構造 (細胞、組織、器官および各系の構造と機能について)
46		
47		
48		
49	医学用語	医学用語 (接頭語と接尾語、用語の基本的な考え方、各用語集について) 医療用語
50		
51		
52		
53	第22回～第39回までのまとめ	これまでの振り返り 9～11章、1～2章および医学用語の理解度テスト
54		
55		
56		
57	前期の総まとめ	基礎領域 (医学用語含む) の総復習
58		
59		
60		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミA-IV（基礎分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミA-IV		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	診療情報管理Ⅰ・Ⅱ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎分野の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	診療情報管理士認定試験（基礎領域）に合格する。 基礎領域のさまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる。 誤っている箇所に関し、正確な知識をもとに正しく修正し、説明することができる。				
評価基準	前期：理解度テスト50%、小テスト30%、授業態度20% 後期：模擬試験50%、演習テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミA①・医療概論・人体構造・機能論・臨床医学総論・ 臨床医学各論Ⅰ・臨床医学各論Ⅱ・臨床医学各論Ⅲ・臨床医学各論Ⅳ・臨床医学各論Ⅴ・ 臨床医学各論Ⅵ・臨床医学各論Ⅶ・臨床医学各論Ⅷ・診療情報管理士対策				
備考	3年前期に認定科目（1・2・12章）があることを考慮した順序で授業を行う。 原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	安部 哲哉			実務経験	○
実務内容	福岡県北九州市内の病院で医師として勤務。病院長として主に内科、産婦人科を担当している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	演習 （1-2章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
2		
3		
4		
5	演習 （3-4章）	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
6		
7		
8		

9	演習 (5-6章)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
10		
11		
12		
13	演習 (7-8章)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
14		
15		
16		
17	演習 (9-10章)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
18		
19		
20		
21	演習 (11章および医学用語)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
22		
23		
24		
25	演習 (全範囲)	演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
26		
27		
28		
29		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
30		
31		
32		
33		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
34		
35		
36		
37		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
38		
39		
40		

41	演習 (全範囲)	
42		
43		
44		
45		演習テストの実施と答え合わせ・見直し、問題の解き直し及び関連問題の演習による定着 模擬試験実施後は模試内容の見直しを行い、基礎分野の知識の徹底を図る
46		
47		
48		
49	直前演習	認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
50		
51		
52		
53		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
54		
55		
56		
57		認定試験本番を想定し、想定問題の演習を通じて試験対策を図る
58		
59		
60		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミB-Ⅰ（専門分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミB-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	診療情報管理Ⅲ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野（分類以外）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける。				
評価基準	テスト50%、小テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミB-Ⅱ，Ⅲ，Ⅳ・医療管理総論・医療管理各論Ⅰ・医療管理各論Ⅱ・ 医療管理各論Ⅲ・保健医療情報学・医療統計Ⅰ・医療統計Ⅱ・ 診療情報管理Ⅰ・診療情報管理Ⅱ・診療情報管理Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松川 勢津子			実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、D P Cコースを修了している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	医療資源、日本医療制度、医療の需要と供給、地域医療（医療供給体制）、医療関連の法規定
2	1章 医療管理総論	
3	2章 医療管理各論Ⅰ	病院の経営管理、医療管理、チーム医療
4		
5	3章 医療管理各論Ⅱ	医療保険制度、わが国の診療群分類、介護保険制度の概要
6		

7	小テスト・復習	小テスト・復習（1～3章）
8		
9	4章 医療管理各論Ⅲ	安全管理（セーフティマネジメント）、医療の質管理、診療情報管理における診療報酬請求データの活用
10		
11	5章 保健医療情報学	保健医療情報学（Health Informatics）、医療情報の特徴と種類、行政が進める保健医療の情報化政策、医療情報システム、診療情報の二次利用、個人が管理する保健医療記録、医療情報の標準化、情報セキュリティ、保健医療の情報化のこれから
12		
13	小テスト・復習	小テスト・復習（4・5章）
14		
15	6章 医療統計Ⅰ	統計的方法、データの要約（記述統計学の方法）、統計学的推測の基礎、統計的仮説検定、仮説検定にともなう2種類の誤り、よく使う検定手法、2つの量的変数の関係
16		
17	7章 医療統計Ⅱ	データのグラフ表現、病院の統計資料、臨床研究の主な手法と医学系研究に関する倫理指針
18		
19	8章 診療情報管理Ⅰ	診療情報管理の意義と役割、診療情報管理と法規等、診療記録の記載方式、診療情報の記載
20		
21	小テスト・復習	小テスト・復習（6・7・8章）
22		
23	9章 診療情報管理Ⅱ	診療情報管理士について、診療情報管理士に求められる資質、診療情報管理士の基本業務、個人情報保護の視点からの保管管理、紙カルテの運用における診療情報管理、電子カルテ運用における診療情報管理、診療情報の提供等に関する指針、診療情報管理士による改善への取り組み、診療情報管理士の活動組織
24		
25	10章 診療情報管理Ⅲ	DPC制度と実務、医師事務作業補助者業務、がん登録の実務について、レセプト情報・特定健診等情報データベース（NDB）について
26		
27	テスト・復習	テスト（1～10章） 復習（9・10章）
28		
29	総まとめ・総復習	テストの振り返りと総まとめ
30		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミB-II（専門分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミB-II		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	3	45
使用教材	診療情報管理Ⅲ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野（分類以外）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける。				
評価基準	模試の結果50％、小テスト30％、授業態度20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミBⅠ，Ⅲ，Ⅳ・医療管理総論・医療管理各論Ⅰ・医療管理各論Ⅱ・ 医療管理各論Ⅲ・保健医療情報学・医療統計Ⅰ・医療統計Ⅱ・ 診療情報管理Ⅰ・診療情報管理Ⅱ・診療情報管理Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松川 勢津子			実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、D P Cコースを修了している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 模擬試験解説 演習（1～2章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
2		
3		
4	模擬試験解説 演習（3～4章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
5		
6		

7		
8	模擬試験解説 演習（5～6章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
9		
10		
11	模擬試験解説 演習（7～8章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
12		
13		
14	模擬試験解説 演習（9～10章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
15		
16		
17	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
18		
19		
20	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
21		
22		
23	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
24		
25		
26	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
27		
28		
29	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
30		

31	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
32		
33		
34	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
35		
36		
37	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
38		
39		
40	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
41		
42		
43	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
44		
45		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミB-III（専門分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミB-III		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	診療情報管理III			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野（分類以外）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける。				
評価基準	テスト50%、小テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミB－Ⅰ，Ⅱ，Ⅳ・医療管理総論・医療管理各論Ⅰ・医療管理各論Ⅱ・ 医療管理各論Ⅲ・保健医療情報学・医療統計Ⅰ・医療統計Ⅱ・ 診療情報管理Ⅰ・診療情報管理Ⅱ・診療情報管理Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松川 勢津子			実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、D P C コースを修了している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1章 医療管理総論	医療資源、日本医療制度、医療の需要と供給、地域医療（医療供給体制）、医療関連の法規定 小テスト（1章）
2		
3		
4		
5	2章 医療管理各論Ⅰ	病院の経営管理、医療管理、チーム医療 小テスト（2章）
6		
7		
8		

9	3章 医療管理各論Ⅱ	医療保険制度、わが国の診断群分類、介護保険制度の概要 小テスト（3章）
10		
11		
12		
13	小テスト・復習 （1～3章）	小テスト・復習（1～3章）
14		
15		
16		
17	4章 医療管理各論Ⅲ	安全管理（セーフティマネジメント）、医療の質管理、診療情報管理における 診療報酬請求データ活用 小テスト（4章）
18		
19		
20		
21	5章 保健医療情報学	保健医療情報学（Health Informatics）、医療情報の特徴と種類 行政が進める保健医療の情報化政策、医療情報システム、診療情報の二次利用、 個人が管理する保健医療記録、医療情報の標準化、情報セキュリティ、保健医療の情報化のこれから 小テスト（5章）
22		
23		
24		
25	小テスト・復習 （4～5章）	小テスト・復習（4～5章） 1章～5章の問題を行う。
26		
27		
28		

29	6章 医療統計Ⅰ	統計的方法、データの要約（記述統計学の方法）、統計学的推測の基礎、統計的仮設検定、 仮設検定にともなう2種類の誤り、よく使う検定手法、2つの量的変数の関係 小テスト（6章）
30		
31		
32		
33	7章 医療統計Ⅱ	データのグラフ表現、病院の統計資料、臨床研究の主な手法と医学系研究関する倫理指針 小テスト（7章）
34		
35		
36		
37	8章 診療情報管理Ⅰ	診療情報管理の意義と役割、診療情報管理と法規等、診療記録の記載方式、診療情報の記載 小テスト（8章）
38		
39		
40		
41	小テスト・復習 （6～8章）	小テスト・復習（6～8章） 1章～8章の問題を行う。
42		
43		
44		
45	9章 診療情報管理Ⅱ	診療情報管理士について、診療情報管理士に求められる資質、診療情報管理士の基本業務、 個人情報保護の視点からの保管管理、紙カルテの運用における診療情報管理、 電子カルテ運用における診療情報管理、診療情報の提供等に関する指針、 診療情報管理士による改善への取り組み、診療情報管理士の活動組織 小テスト（9章）
46		
47		
48		
49	10章 診療情報管理Ⅲ	DPC制度と実務、医師事務作業補助者業務、がん登録の実務について 小テスト（10章）
50		
51		
52		
53	テスト・復習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
54		
55		
56		

57	総まとめ・総復習	小テストの実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
58		
59		
60		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミB-IV（専門分野）		
必修選択	選択	（学則表記）	診療情報管理士受験対策ゼミB-IV		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	診療情報管理Ⅲ			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野（分類以外）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2～3年次に学ぶ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に必要な知識を身に付ける。				
評価基準	模試の結果50%、小テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	診療情報管理士受験対策ゼミBⅠ、Ⅱ、Ⅲ・医療管理総論・医療管理各論Ⅰ・医療管理各論Ⅱ・ 医療管理各論Ⅲ・保健医療情報学・医療統計Ⅰ・医療統計Ⅱ・ 診療情報管理Ⅰ・診療情報管理Ⅱ・診療情報管理Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松川 勢津子			実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、DPCコースを修了している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 模擬試験解説 演習（1～2章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
2		
3		
4		
5	模擬試験解説 演習（3～4章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
6		
7		
8		

9	模擬試験解説 演習（5～6章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
10		
11		
12		
13	模擬試験解説 演習（7～8章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
14		
15		
16		
17	模擬試験解説 演習（9～10章）	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
18		
19		
20		
21	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
22		
23		
24		
25	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
26		
27		
28		
29	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
30		
31		
32		

33	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
34		
35		
36		
37	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
38		
39		
40		
41	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
42		
43		
44		
45	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
46		
47		
48		
49	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
50		
51		
52		
53	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
54		
55		
56		
57	模擬試験解説 総演習	小テストを実施⇒答え合わせ⇒アウトプットを行い知識を定着していく
58		
59		
60		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミC-Ⅰ（分類分野）		
必修選択	選択	(学則表記)	診療情報管理士受験対策ゼミC-Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	診療情報管理Ⅲ、ICD－10			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野（分類）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2年次に学んだ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に向けて対策を行う。				
評価基準	テスト50%、小テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	国際統計分類Ⅰ、国際統計分類Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	廣瀬 智子			実務経験	○
実務内容	佐賀県の医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院に15年間勤務。主に診療情報管理業務を担当していた。また、福岡県内の診療情報管理士養成校にて講師経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 11-1 国際疾病分類論	3年次の授業内容について 11-1-1 わが国の人口動態統計
2		11-1-2・3・4 国際疾病分類（ICD）の歴史・現状・構造
3		小テスト（11-1）
4	11-2 国際統計分類ファミリー論	11-2 国際統計分類ファミリー（WHO-FIC）の概念と構想 国際統計分類ファミリーに含まれる分類
5	11-3 国際疾病分類の利用	小テスト（11-2） 11-3-1 原死因選択ルール
6		11-3-2主要病態のコーディングと再選択ルール 11-3-3 ICDを用いるうえでの注意点
7		小テスト（11-3） 11章テスト

8	12-2各章の疾病分類体系の理解	12-1-1 コーディングをはじめるにあたって 12-1-2 ICD-10（2013年版）準拠の概説 12-1-3 「国際疾病分類（ICD）」編さんの基準とその特徴 12-1-4 「内容例示表」と「索引表」の使用方法12-1-5 複数病態分類、複合病態分類及び二重分類
9		12-1-6 「内容例示表」及び「索引表」で用いられている表 12-1-7 用語の定義及び傷病名の構成 12-1-8 傷病名のコード索引方法の解説 12-1-9 コーディング支援ソフトウェアの利用
10		小テスト（12-1） 12-2-1 第Ⅰ章感染症及び寄生虫症
11		12-2-2 第Ⅱ章新生物＜腫瘍＞ 12-2-3 第Ⅲ章 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害 12-2-4 第Ⅳ章内分泌、栄養及び代謝疾患 12-2-5 第Ⅴ章精神及び行動の障害
12		12-2-5 第Ⅴ章精神及び行動の障害 12-2-6 第Ⅵ章 神経系の疾患 12-2-7 第Ⅶ章 眼及び付属器の疾患 12-2-8 第Ⅷ章 耳及び乳様突起の疾患
13		12-2-9 第Ⅸ章 循環器系の疾患 12-2-10 第Ⅹ章 呼吸器系の疾患 12-2-11 第Ⅺ章 消化器系の疾患 小テスト（12-2-1～11）
14	テスト	総テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	診療情報管理士受験対策ゼミC-Ⅱ（分類分野）		
必修選択	選択	(学則表記)	診療情報管理士受験対策ゼミC-Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	2	60
使用教材	診療情報管理Ⅲ、ICD－10			出版社	一般社団法人日本病院会

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野（分類）の復習を行い、診療情報管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	2・3年次に学んだ専門科目の総復習を行い、認定試験合格に向けて対策を行う。				
評価基準	テスト50%、小テスト30%、授業態度20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	診療情報管理士				
関連科目	国際統計分類Ⅰ、国際統計分類Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	廣瀬 智子			実務経験	○
実務内容	佐賀県の医療法人清明会 やよいがおか鹿毛病院に15年間勤務。主に診療情報管理業務を担当していた。また、福岡県内の診療情報管理士養成校にて講師経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 12-2各章の疾病分類体系の理解	12-2-12 第Ⅶ章 皮膚及び皮下組織の疾患 12-2-13 第Ⅷ章 筋骨格系及び結合組織の疾患 12-2-14 第Ⅸ章 腎尿路生殖器系の疾患 12-2-15 第Ⅹ章 妊娠、分娩及び産じょく<褥> 12-2-16 第Ⅺ章 周産期に発生した病態 12-2-17 第Ⅻ章 先天奇形、変形及び染色体異常
2		12-2-18 第Ⅼ章 症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの 12-2-19 第Ⅽ章 損傷、中毒及びその他の外因の影響 12-2-20 第Ⅾ章 傷病及び死亡の外因 12-2-21 第Ⅿ章 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用
3		12-2-22 原死因コーディング 小テスト（12-2-12～12-2-22） 12章テスト

4		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
5		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
6		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
7		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
8	11・12章演習	小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
9		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
10		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
11		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
12		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
13		小テストの実施→答え合わせ→アウトプットを行い知識を定着していく
14	テスト	総テスト
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン実務Ⅴ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン実務Ⅴ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	Accessクイックマスター		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Accessの基本操作を身に着ける。 Access操作を通して、データベースの考え方、重要性を理解する。		
到達目標	簡素化した「簡易データベース」を作成することができる。 必要なフォームを考案し、データ全体の設計を行うことができる。		
評価基準	テスト40%、課題提出40%、授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	パソコン演習Ⅰ、パソコン演習Ⅱ、パソコン演習Ⅲ、パソコン演習Ⅳ、パソコン演習Ⅵ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	久米 優子	実務経験	○
実務内容	民間企業にて入力操作研修(OS、Word、Excel、Access)を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	データベースについて Accessのしくみ	Excelとの違い、Accessの機能について
2	基本操作	起動・終了、ウインドウ構成、オブジェクトの種類について
3	データベースファイルの作成	「商品管理」DB構成と作成手順について
4	テーブルの設計①	概要テーブルについて 自動保存等の作成注意事項について
5	テーブルの設計②	テーブルのビュー・構成・新規作成について

6	テーブルの設計③	フィールド定義・主キーについて
7	テーブルの設計④	データ入力・インポートについて練習問題実施
8	クエリの設計①	概要 クエリについて 構成・表示方法について
9	クエリの設計②	選択クエリ新規作成・並べ替え・抽出について
10	クエリの設計③	練習問題実施
11	フォームの設計①	レイアウトの種類について
12	フォームの設計②	ウィザード・オートフォーマットについて
13	フォームの設計③	プロパティ・IME 切り替えについて
14	テスト	テスト実施
15	これまでの復習	1 回～1 5 回の内容復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	パソコン実務Ⅵ		
必修選択	選択	(学則表記)	パソコン実務Ⅵ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	Accessクイックマスター		出版社	ウィネット	

科目の基礎情報②

授業のねらい	Accessの基本操作を身に着ける。 Access操作を通して、データベースの考え方、重要性を理解する。		
到達目標	簡素化した「簡易データベース」を作成することができる。 必要なフォームを考案し、データ全体の設計を行うことができる。		
評価基準	テスト40％、課題提出40％、授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	パソコン演習Ⅰ、パソコン演習Ⅱ、パソコン演習Ⅲ、パソコン演習Ⅳ、パソコン演習Ⅴ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	久米 優子	実務経験	○
実務内容	民間企業にて入力操作研修(OS、Word、Excel、Access)を担当。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	レポートの設計①	概要 レポートについて 種類について
2	レポートの設計②	新規作成・編集について ウィザードについて
3	レポートの設計③	練習問題実施
4	リレーションシップ①	種類・参照整合性について
5	リレーションシップ②	テーブルの結合について
6	リレーションシップ③	練習問題を実施する
7	マクロ①	概要 マクロについて
8	マクロ②	練習問題を実施する
9	データベースの設計①	簡易データベースの作成－1について 入力順の設定について

10	データベースの設計②	簡易データベースの作成－２について パラメータクエリについて
11	データベースの設計③	簡易データベースの作成－３について アクションクエリについて
12	データベースの設計④	簡易データベースの作成－４について コマンドボタンについて
13	データベースの設計⑤	簡易データベースの作成－４について AUTOEXECについて
14	テスト実施	テスト実施
15	これまでの復習	これまでの内容復習

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医科医療事務演習Ⅲ		
必修選択	必修	(学則表記)	医科医療事務演習Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	①レセプト請求の全技術②DPCの理解と演習 ③DPC点数早見表④早見表⑤診療点数早見表(点数表)			出版社	①③⑤医学通信社④ユアサポート ②ケアアンドコミュニケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	DPC算定と出来高算定を比較し診療報酬を学ぶ		
到達目標	認定試験に関わりのあるDPCの基礎知識を復習しつつ点数算定を行うことが出来る。		
評価基準	評価テスト：60％ 提出物：20％ 授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	診療報酬請求事務能力認定試験、医療秘書技能検定		
関連科目	医事CP（DPC）		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する		
担当教員	井上 慎	実務経験	○
実務内容	福岡市内総合病院にて8年間入院担当として勤務。現在医事課主任として勤続中。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	・オリエンテーション ・DPC算定の基礎 第1章 入院医療に係る診断群分類	第1章 入院医療に係る診断群分類 §1.DPCとは～§3.対象患者
2	DPC算定の基礎 第1章 入院医療に係る診断群分類	第1章 入院医療に係る診断群分類 §4.包括評価の対象と出来高によるもの～§6.主要診断群（MDC）
3	DPC算定の基礎 第1章 入院医療に係る診断群分類	第1章 入院医療に係る診断群分類 §7.診断群分類番号の構成～§8.入院期間別係数
4	DPC算定の基礎 第1章 入院医療に係る診断群分類	第1章 入院医療に係る診断群分類 §9.請求のパターン～§10診療報酬明細書の記載要領
5	DPC算定演習 第3章 練習問題	第3章 練習問題 NO.1～
6	DPC算定演習 第3章 練習問題	第3章 練習問題
7	DPC算定演習 第3章 練習問題	第3章 練習問題
8	DPC算定演習 第3章 練習問題	第3章 練習問題 ～NO.16
9	第5章 総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題 NO.1 カルテからレセプト作成
10	第5章 総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題 NO.2 カルテからレセプト作成

11	第5章 総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題 NO.3 カルテからレセプト作成
12	第5章 総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題 NO.4 カルテからレセプト作成
13	第5章 総合練習問題 出来高・DPCのレセプト作成	総合練習問題 NO.5 カルテからレセプト作成
14	評価テスト	出来高レセプト作成からDPCレセプト作成
15	まとめ	点数算定のまとめ DPC制度の概要と基本的な考え方の復習をする

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	Drクラーク演習		
必修選択	選択	(学則表記)	Drクラーク演習		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	①医師事務作業補助者 演習問題集 ②電子カルテシステムの理解と演習			出版社	①オーム社 ②ケアアンドコミュニケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	医療文書に関する様々な知識や記載方法を習得する。医師の事務作業の負担軽減になる知識技術を身につける。		
到達目標	診断書など医師事務作業補助者の業務で扱う医療文書を作成することができる。		
評価基準	評価テスト60％、提出物20％、授業態度20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格			
関連科目	診療情報管理Ⅲ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	上田 沙織	実務経験	○
実務内容	福岡県内の病院にて医師事務作業補助者として11年間勤務経験あり。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業目的 文書作成にあたって
2	診断書	問題1 診断書
3	診断書	問題1 傷害保険診断書
4	処方箋	問題5 処方箋
5	入院診療計画書	問題2・問題4 入院診療計画書
6	入院診療計画書	問題2・問題4 入院診療計画書
7	同意書	問題2 手術説明同意書
8	同意書	問題3 検査・手術同意書

9	同意書	問題4 手術同意書
10	退院証明書	問題2・4 退院証明書
11	退院療養計画書	問題2 退院療養計画書
12	入院・手術証明書	問題3 入院・手術証明書
13	退院サマリー	退院サマリー
14	退院サマリー	退院サマリー
15	傷病手当金申請書 臨床個人調査票	問題5 健康保険傷病手当金申請書 臨床個人調査票
16	小テスト	小テスト
17	診療情報提供書	問題6 診療情報提供書、診療情報提供書（返書）
18	診療情報提供書	問題6 診療情報提供書、診療情報提供書（返書）
19	主治医意見書	問題8 主治医意見書
20	主治医意見書	問題8 主治医意見書
21	自賠責後遺症障害診断書	問題9 自動車損害賠償責任保険後遺障害診断書
22	死亡診断書・死体検案書	問題10 死亡診断書
23	出産手当金支給申請書	問題11 出産手当金支給申請書
24	出生証明書 出産育児一時金支給申請書	問題11 出生証明書、出産育児一時金支給申請書
25	出席停止証明書	問題12 出席停止証明書
26	登校許可証明書	登校許可証明書
27	医療要否意見書	問題7 医療要否意見書
28	テスト	期末テスト
29	期末まとめ	期末まとめの振り返り
30	総まとめ	総まとめの振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	施設基準管理		
必修選択	選択	(学則表記)	施設基準管理		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	施設基準パーフェクトブック2022年度版 医療関係者は必携！ゼロからはじめる施設基準の教科書		出版社	一般社団法人日本施設基準管理士協会 日本施設基準管理士協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	病院が行う施設基準の届出を総合的に管理・運用する専門知識とスキルを獲得する。		
到達目標	①施設基準の届出を総合的に管理・運用できるようにする。 ②施設基準管理士認定試験に必要な知識を習得する。		
評価基準	確認テスト40%、小テスト30%、授業姿勢30%		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	施設基準管理士、診療情報管理士		
関連科目	メディカルマネジメント論Ⅰ,Ⅱ、経営戦略基礎Ⅰ,Ⅱ、医科医療事務演習Ⅲ、医療管理各論Ⅱ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松川 勢津子	実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、DPCコースを修了している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設基準管理士とは？ 施設基準の基礎知識	オリエンテーション 1. 施設基準とは？ 2. 施設基準の根拠と法律
2	施設基準の基礎知識	1. 施設基準のルールと読み解き方 2. 施設基準で規定される主な項目と用語
3	基本診療料 構造と共通ルール	1. 基本診療料の構造 2. 基本診療料の共通ルール
4	基本診療料 主な施設基準	1. 外来 2. 入院 3. 短期滞在手術等基本料
5	基本診療料 入院基本料の看護基準	1. 看護の基本事項 2. 看護の実施に係る事項
6	基本診療料 入院基本料の看護基準	1. 看護要員の配置に係る基準とルール 2. 看護補助者

7	基本診療料 入院基本料の看護基準	1. 様式9の全体像 2. 勤務実績表
8	特掲診療料	1. 特掲診療料の基本 2. 代表的な診療報酬項目の基準要件
9	重度度 医療・看護必要度 在宅復帰率	1. 重要度、医療・看護必要度 2. 在宅復帰率
10	DPCと施設基準	1. DPC包括制度（DPC/PDPS）とは？ 2. DPC対象病院の要件 3. 包括評価の対象 4. DPC対象病院の診療報酬の計算 5. 医療機器別係数の内訳
11	入院時食事療養費・院内掲示	1. 入院時食事療養費 2. 院内掲示
12	施設基準の届け出	1. 届け出の基本事項 2. 届出受理後の取り扱い
13	施設基準の適時調査	1. 適時調査の基本事項 2. 適時調査の流れ
14	テスト	テストの実施
15	総まとめ	総まとめの振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	業界理解AⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	業界理解AⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・自分が希望する就職先から内定を頂くために何が必要かを知る ・社会人に必要な心構えやマナーを理解する ・診療情報管理士認定試験に合格するために必要な勉強法について理解する				
到達目標	・自分で就職活動の計画を立てることができる ・自分にあった勉強方法を見つけ自学習できる状態になっている ・クラスメイトと協力しながら、就職活動・認定試験に取り組む姿勢がみられる				
評価基準	提出物70% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	業界理解Ⅱ、ゼミA・B・C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上田 沙織			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	・年間スケジュールを確認し、就職活動と認定試験の勉強スケジュールを立てる ・1年間の目標を立てる。
2	就職活動（職種理解）	・昨年度頂いた求人票を元に再度職種について説明する ・雇用形態についても説明する。
3	就職活動（希望条件）	これから就職活動をする上で自分が譲れない条件について考える
4	卒業生ガイダンス	診療情報管理士科の卒業生から就職活動と認定試験の勉強の両立について説明する ※実施時期は各校判断
5	就職活動（自己PR①）	2年次の実習や研究発表会で経験した内容を踏まえて、“今の自分の強み”を考える
6	就職活動（自己PR②）	自己PRを完成・提出させる
7	就職活動（自己PR③）	完成した自己PRを元に自分の言葉で話せるように練習する（面接対策）

8	就職活動（志望動機①）	自分の考えや経験を踏まえて、志望動機を考える
9	就職活動（志望動機②）	志望動機を完成・提出させる
10	就職活動（志望動機③）	完成した志望動機を元に自分の言葉で話せるように練習する（面接対策）
11	就職活動（履歴書）	履歴書の書き方を再度確認をする
12	就職活動（面接練習②）	昨年度の受験報告書を元に面接練習をする
13	就職活動（面接練習③）	
14	模試フィードバック	8月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
15	模試フィードバック・前期振り返り 総まとめ	・9月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる ・初回授業で立てた目標から振り返り、後期に向けて再度スケジュールを調整する

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	業界理解BⅢ		
必修選択	選択	(学則表記)	業界理解BⅢ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	なし			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	・自分が希望する就職先から内定を頂くために何が必要かを知る ・社会人に必要な心構えやマナーを理解する ・診療情報管理士認定試験に合格するために必要な勉強法について理解する				
到達目標	・自分で就職活動の計画を立てることができる ・自分にあった勉強方法を見つけ自学習できる状態になっている ・クラスメイトと協力しながら、就職活動・認定試験に取り組む姿勢がみられる				
評価基準	提出物70% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	業界理解Ⅱ、ゼミA・B・C				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上田 沙織			実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 医療機関ガイダンス	・後期のスケジュールを確認し、模試の勉強スケジュールを立てる ・医療機関の職員から「働くこと」についてご講話頂く
2	模試フィードバック	10月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
3	社会人になる前の心構え①	社会人に求められる身だしなみ、言葉遣い、マナーについて学ぶ
4	社会人になる前の心構え②	名刺交換、正しい敬語の使い方、電話応対について学ぶ
5	社会人になる前の心構え③	上座・下座の位置（エレベーター・会議室・タクシー等）、メールについて学ぶ
6	模試フィードバック	11月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる

7	社会人になる前の心構え④	実際にあった卒業生の事例をケーススタディとして対応策を考えていく
8	社会人になる前の心構え⑤	
9	社会人になる前の心構え⑥	
10	認定試験に向けて	冬休み前から本格的に勉強をした先輩の勉強法について紹介し、自分の勉強を見直す
11	模試フィードバック	12月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
12	冬休みに向けて	冬休みに計画的に勉強ができるように勉強スケジュールを立てる
13	模試フィードバック	1月模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
14	模試フィードバック	直前模試の平均点・昨年度合格者平均から自分の勉強を振り返り、次の模試に向けて勉強スケジュールを立てる
15	振り返りと今後の目標設定・総まとめ	3年間の学校生活を振り返り、社会人の目標を立てる

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	メディカルマネジメント論Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	メディカルマネジメント論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	施設基準パーフェクトブック			出版社	経営書院

科目の基礎情報②

授業のねらい	施設基準の届出を総合的に管理・運用する専門知識とスキルを身につける。		
到達目標	①施設基準管理士の役割と必要性を理解し、説明することができる。 ②施設基準管理士認定試験に必要な知識を習得し資格取得を目指す。		
評価基準	確認テスト40%、小テスト30%、授業姿勢30%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	施設基準管理士		
関連科目	施設基準管理、経営戦略基礎Ⅰ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松川 勢津子	実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、DPCコースを修了している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設基準の役割	1.オリエンテーション 2.施設基準、施設基準管理士とは？
2	施設基準の届出①	1.届出に関する手続き 2.施設基準の確認 3.届出前の実績 4.届出関連の書式 5.届出書の構成、記載方法
3	届出・施設基準の通則 基本診療料の施設基準	1.届出の通則、施設基準の通則 2.初・再診料
4	様式9①	1.様式9とは 2.看護要員と看護職員の違い 3.入院患者の数及び看護職員の数 4.平均在院日数
5	基本診療料 入院基本料の施設基準	1.入院基本料通則 2.入院患者の数 3.看護要員の数
6	入院基本料（一般・療養）	1.急性期一般入院基本料 2.療養病棟入院基本料 3.入院基本料の届出
7	入院基本料等加算②	入院基本料等加算の主な施設基準
8	入院基本料等加算④	入院基本料等加算の主な施設基準
9	特定入院料② 短期滞在手術基本料	特定入院料、短期滞在手術基本料の主な施設基準

10	特掲診療料の施設基準②	在宅医療、検査、画像診断の主な施設基準
11	特掲診療料の施設基準④	精神、処置の主な施設基準
12	入院時食事療養・生活療養 療養担当規則	1.入院時食事療養・生活療養の主な施設基準 2.療養担当規則とは
13	保険外併用療養費	保険外併用療養費に係る厚生労働大臣が定める基準等
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	メディカルマネジメント論Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	メディカルマネジメント論Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	施設基準パーフェクトブック ゼロからはじめる施設基準の教科書			出版社	経営書院

科目の基礎情報②

授業のねらい	基礎分野の復習を行い、施設基準管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	①基礎科目の総復習を行い、認定試験に必要な知識を身に付ける。 ②さまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる。				
評価基準	テスト50%、小テスト30%、授業姿勢20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	施設基準管理士				
関連科目	施設基準管理、経営戦略基礎Ⅰ、Ⅱ、メディカルマネジメントⅠ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松川 勢津子			実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、DPCコースを修了している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 演習（施設基準の基礎知識①）	オリエンテーション 演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
2	演習 （施設基準の基礎知識②）	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
3	演習 （基本診療料 構造と共通ルール）	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
4	演習 （主な施設基準）	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
5	演習 （入院基本料の看護基準①）	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
6	演習 （入院基本料の看護基準②）	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
7	演習 （入院基本料の看護基準③）	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
8	演習 特掲診療料	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
9	演習 重症度 医療・看護必要度 在宅復帰率	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく

10	演習 DPCと施設基準	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
11	演習 入院時食事療養費・院内掲示	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
12	演習 施設基準の届出	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
13	演習 施設基準の適時調査	演習テストの実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	経営戦略基礎Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	経営戦略基礎Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	施設基準パーフェクトブック		出版社	経営書院	

科目の基礎情報②

授業のねらい	施設基準の届出を総合的に管理・運用する専門知識とスキルを身につける。		
到達目標	①施設基準管理士の役割と必要性を理解し、説明することができる。 ②施設基準管理士認定試験に必要な知識を習得し資格取得を目指す。		
評価基準	確認テスト40%、小テスト30%、授業姿勢30%		
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者		
関連資格	施設基準管理士		
関連科目	施設基準管理、メディカルマネジメントⅠ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	松川 勢津子	実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、DPCコースを修了している。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設基準の基礎知識	1.オリエンテーション 2.施設基準の根拠と構造
2	施設基準の届出②	1.届出受理後の措置等 2.施設基準の要件
3	入院基本料の施設基準	入院診療計画、院内感染防止対策、医療安全管理体制、褥瘡対策及び栄養管理体制の基準
4	様式9②	1.勤務実績表 2.様式9-2
5	重症度、医療・看護必要度	1.重症度、医療・看護必要度とは 2.重症度、医療・看護必要度の基準
6	入院基本料等加算①	入院基本料等加算の主な施設基準
7	入院基本料等加算③	入院基本料等加算の主な施設基準
8	特定入院料①	特定入院料の主な施設基準
9	特掲診療料の施設基準①	医学管理等の施設基準

10	特掲診療料の施設基準③	投薬、注射、リハビリテーションの施設基準
11	特掲診療料の施設基準⑤	手術、麻酔、放射線、病理の施設基準
12	掲示事項等	厚生労働大臣が定める掲示事項
13	施設基準の適時調査	適時調査とは
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	経営戦略基礎Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	経営戦略基礎Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	施設基準パーフェクトブック ゼロからはじめる施設基準の教科書			出版社	経営書院

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門分野の復習を行い、施設基準管理士認定試験に向けて対策を行う。				
到達目標	①専門科目の総復習を行い、認定試験に必要な知識を身に付ける。 ②さまざまな問題に関して理解し、正誤を判断することができる。				
評価基準	テスト50%、小テスト30%、授業姿勢20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	施設基準管理士				
関連科目	施設基準管理、メディカルマネジメントⅠ、Ⅱ、経営戦略基礎Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	松川 勢津子			実務経験	○
実務内容	福岡県内のクリニックにて医療事務員として6年勤務し、受付・会計業務やリハビリ助手を担当していた。その後、診療情報管理士を取得し、DPCコースを修了している。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 様式9復習	様式9の理解と作成、看護要員と看護職員の違い、作成準備
2	様式9復習と演習	入院基本料・特定入院料の届出、看護要員の配置に係る加算の届出
3	様式9復習と演習	入院患者の数及び看護要員の数 (①1日平均入院患者の数 ②月平均1日当たり看護職員配置数 ③看護職員中の看護師の比率)
4	様式9復習と演習	入院患者の数及び看護要員の数 (④平均在院日数 ⑤夜勤時間帯 ⑥月平均夜勤時間数)
5	様式9復習と演習	入院患者の数及び看護要員の数 (⑦月平均1日当たり当該入院料の施設基準の最少必要人数以上の 看護職員配置数 ⑧月平均1日当たり看護補助者配置数)
6	様式9復習と演習	入院患者の数及び看護要員の数 (⑨月平均1日当たり看護補助者夜間配置数 ⑩月平均1日当たりの主として事務的業務を行う看護補助者配置数)
7	様式9復習と演習	勤務実績表 (①種別 ②雇用・勤務形態 ③看護補助者の業務 ④夜勤の有無 ⑤夜勤従事者数)
8	様式9復習と演習	勤務実績表 (⑥日付別の勤務時間数 ⑦勤務時間から除外するもの ⑧月延べ夜勤時間数 ⑨事務的業務を行う看護補助者の月延べ勤務時間数の計)
9	様式9復習と演習	勤務実績表 (⑩1日看護職員配置数 ⑪配置区分の数 ⑫月平均1日当たり看護補助者配置数 ⑬1日看護職員配置数 (地域包括ケア病棟入院料注3を届ける場合))

10	様式 9 -2復習と演習	様式9-2 夜間看護職員配置状況
11	様式 9 復習と総演習	様式 9 の作成の実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
12	様式 9 復習と総演習	様式 9 の作成の実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
13	様式 9 復習と総演習	様式 9 の作成の実施と答え合わせをし、見直し、アウトプットを行い知識を定着していく
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医療IT AⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療IT AⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	キタミ式イラストIT塾 ITパスポート			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ITパスポート試験対策。ITを活用する社会人として、備えておくべきITに関する基礎知識を習得する。		
到達目標	ITパスポート試験に合格できる知識を習得する。 内容は情報技術(ICT)全般および企業活動における経営戦略や法務などの基礎知識である。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度/提出物：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ITパスポート試験		
関連科目	医療IT BⅠ, 医療IT AⅡ, BⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田口　大輔	実務経験	○
実務内容	九州経済産業局でシステムエンジニアとして1年間勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	情報処理技術者試験の概要とITパスポート試験の位置付け 出題分野/試験方法の概要
2	基数表現	2進数/10進数/16進数の表現、基数の変換
3	基数表現、集合と論理	2進数による負数(補数)表現、論理演算、bitとByte、接頭辞
4	ファイルとディレクトリ	ファイル形式、ディレクトリツリー、パスファイル指定
5	ハードウェア①	CPU、メインメモリ(RAM/ROM)、HDD,SSD
6	ハードウェア②	入出力装置、ディスプレイ解像度、入出力インターフェース
7	ハードウェア③	ハードディスク、RAID技術
8	ソフトウェア	OSの概要/役割、ソフトウェアの分類
9	ソフトウェア(表計算)	計算式、関数、絶対参照と相対参照指定

10	ソフトウェア(表計算)	IF関数による分岐
11	データベース①	関係データモデル、正規化、データ操作(DML)
12	データベース②	トランザクション管理、障害管理
13	ネットワーク①	LAN/WAN、通信速度、通信プロトコル
14	ネットワーク②	インターネットの仕組み、ドメイン、IPアドレス、電子メール
15	情報セキュリティ①	技術的脅威(ウィルス対策、フィッシング)、セキュリティ要素、リスクマネジメント
16	情報セキュリティ②	認証技術、暗号化技術、デジタル署名
17	システム開発	開発プロセスの概要、開発手法、アジャイル開発、テスト手法
18	業務のモデル化	DFD、ER図、コード設計
19	プロジェクトマネジメント	PMBOK、アローダイアグラム
20	システム監査	ITサービスマネジメント、SLA、ITガバナンス
21	システム構成と障害管理	システムの処理形態、システムの性能指標
22	システムの信頼性と稼働率	MTBF/MTTR、稼働率の計算、バックアップ管理
23	企業活動と法務①	経営組織と業務分析、損益分岐点
24	企業活動と法務②	財務諸表、損益計算書、知的財産権
25	企業活動と法務③	セキュリティ関連法規、労働関連法規、ISO/標準化
26	経営戦略マネジメント	経営戦略に関連する用語、マーケティング分析
27	技術戦略マネジメント	ビジネスシステム、POS管理、RFID、生産方式
28	システム戦略マネジメント	業務プロセス、クラウドコンピューティング
29	期末テスト	期末テストの実施
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医療IT AⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療IT AⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	キタミ式イラストIT塾 ITパスポート			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ITパスポート試験対策。ITを活用する社会人として、備えておくべきITに関する基礎知識を習得する。				
到達目標	・ITパスポート試験に合格できる知識を習得する。 - 内容とは情報技術(ICT)全般および企業活動における経営戦略や法務などの基礎知識である。 ・本科目はアルゴリズム/計算問題対策に特化し、本試験問題が解けるようにする				
評価基準	テスト：50％ 小テスト：30％ 授業態度/提出物：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	ITパスポート試験				
関連科目	医療IT AⅠ, 医療IT BⅠ, BⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田口 大輔			実務経験	○
実務内容	九州経済産業局でシステムエンジニアとして1年間勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について
2	試験対策 アルゴリズム①	アルゴリズムとフローチャートの過去問演習と解説
3	試験対策 アルゴリズム②	アルゴリズムとフローチャートの過去問演習と解説
4	試験対策 アルゴリズム③	アルゴリズムとフローチャートの過去問演習と解説
5	試験対策 テクノロジ系計算問題①	基数関連の過去問演習と解説
6	試験対策 テクノロジ系計算問題②	システムの信頼性と稼働率の過去問演習と解説
7	試験対策 テクノロジ系計算問題③	①,②以外の計算問題の過去問演習と解説
8	中間テスト	2～7回までのテストと問題解説
9	試験対策 マネジメント系計算問題	生産管理の過去問演習と解説

10	試験対策 ストラテジー系計算問題①	P/L, B/S, ROIの過去問演習と解説
11	試験対策 ストラテジー系計算問題②	損益分岐点等の過去問演習と解説
12	試験対策 表計算①	表計算の過去問演習と解説
13	試験対策 表計算②	表計算の過去問演習と解説
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	医療IT B I		
必修選択	選択	(学則表記)	医療IT B I		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	30
使用教材	キタミ式イラストIT塾 ITパスポート			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ITパスポート試験対策。ITを活用する社会人として、備えておくべきITに関する基礎知識を習得する。		
到達目標	ITパスポート試験に合格できる知識を習得する。 内容は情報技術(ICT)全般および企業活動における経営戦略や法務などの基礎知識である。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度/提出物：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ITパスポート試験		
関連科目	医療IT AⅠ, 医療IT AⅡ, BⅡ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田口　大輔	実務経験	○
実務内容	九州経済産業局でシステムエンジニアとして1年間勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	情報処理技術者試験の概要とITパスポート試験の位置付け 出題分野/試験方法の概要
2	基数表現①	基数の変換の問題演習、過去問演習
3	基数表現②	基数の変換の問題演習、過去問演習
4	ファイルとディレクトリ	パスファイル指定の問題演習、過去問演習
5	ハードウェア①	ハードウェアに関する問題演習、過去問演習
6	ハードウェア②	ハードウェアに関する問題演習、過去問演習
7	ソフトウェア①	ソフトウェアに関する問題演習、過去問演習
8	ソフトウェア②	ソフトウェアに関する問題演習、過去問演習
9	表計算演習① 計算式、関数	PC教室にてExcelを使用する。計算式+関数の演習

10	表計算演習② 相対参照と絶対参照	PC教室にてExcelを使用する。参照指定の演習
11	表計算演習③ IF関数による分岐	PC教室にてExcelを使用する。IF関数の演習
12	表計算演習④ 過去問総合演習	PC教室にてExcelを使用する。過去問総合演習
13	アルゴリズムとフローチャート①	プログラミング言語、コンパイル方式
14	アルゴリズムとフローチャート②	構造化プログラミングの基本・制御構造、フローチャート記述
15	アルゴリズムとフローチャート③	変数、条件分岐、複合分岐のフローチャート記述
16	アルゴリズムとフローチャート④	繰り返し制御のフローチャート記述
17	アルゴリズムとフローチャート⑤	フローチャートの問題演習、過去問演習
18	アルゴリズムとフローチャート⑥	フローチャートの問題演習、過去問演習
19	データベース①	データベースの問題演習、過去問演習
20	データベース②	データベースの問題演習、過去問演習
21	ネットワーク①	ネットワークの問題演習、過去問演習
22	ネットワーク②	ネットワークの問題演習、過去問演習
23	ネットワーク③	ネットワークの問題演習、過去問演習
24	情報セキュリティ①	情報セキュリティの問題演習、過去問演習
25	情報セキュリティ②	情報セキュリティの問題演習、過去問演習
26	システム開発	システム開発の問題演習、過去問演習
27	業務のモデル化	業務モデル化の問題演習、過去問演習
28	システムの信頼性と稼働率	システムの信頼性と稼働率の問題演習、過去問演習
29	期末テスト	期末テストの実施
30	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	医療IT BⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	医療IT BⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	3年	学科	診療情報管理士科	1	15
使用教材	キタミ式イラストIT塾 ITパスポート			出版社	技術評論社

科目の基礎情報②

授業のねらい	ITパスポート試験対策。ITを利活用する社会人として、備えておくべきITに関する基礎知識を習得する。		
到達目標	ITパスポート試験に合格できる知識を習得する。 内容は情報技術(ICT)全般および企業活動における経営戦略や法務などの基礎知識である。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度/提出物：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	ITパスポート試験		
関連科目	医療IT AⅠ, AⅡ, 医療IT BⅠ		
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。		
担当教員	田口　大輔	実務経験	○
実務内容	九州経済産業局でシステムエンジニアとして1年間勤務		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の進め方、評価方法について
2	試験対策 テクノロジ系①	ハードウェア、ソフトウェアの過去問演習と解説
3	試験対策 テクノロジ系②	データベースの過去問演習と解説
4	試験対策 テクノロジ系③	ネットワークの過去問演習と解説
5	試験対策 テクノロジ系④	情報セキュリティの過去問演習と解説
6	試験対策 マネジメント系①	システム開発の過去問演習と解説
7	試験対策 マネジメント系②	プロジェクトマネジメント、サービスマネジメントの過去問演習と解説
8	中間テスト	2～7回までのテストと問題解説
9	試験対策 ストラテジー系①	ストラテジー系の計算問題以外の過去問演習と解説

10	試験対策 ストラテジー系②	ストラテジー系の計算問題以外の過去問演習と解説
11	試験対策 ストラテジー系③	ストラテジー系の計算問題以外の過去問演習と解説
12	試験対策 総合演習①	弱点分野への対応
13	試験対策 総合演習②	弱点分野への対応
14	期末テスト	期末テストの実施
15	総まとめ	テストの振り返りと総まとめ